



かるがも便り

1月・4月・7月・10月の年4回発行 石神井まちづくりの会 代表 兼 編集者：下河秀行 デザイン・構成：[デザイン NI-MO]

今号の 記事内容

1面：都立石神井公園野外ステージの活用を
2面：知られざる練馬の歴史シリーズ⑩ 葛城明彦氏
3面：練馬の美術館シリーズ ちひろ美術館
4面：野鳥と自然の会提供【石神井公園 NOW】

5面：SDGs シリーズ その⑭ 大泉高校附属中学校
6面：ねりまゆかりの漫画家 その③ 練馬の漫画家
7面：練馬の活動団体その⑥ NPO 法人【むすび】
8面：練馬の77年の歴史その② ITでも閲覧可ほか

都立石神井公園【野外ステージ】を活かしたイベントを

あまり活用されていない『野外ステージ』

2014年度に1億6,000万円余りの費用をかけて大改修が行われた。ステージ部は①これまでの円形のステージを約20mの長方形のステージにし、②両脇のモニュメントについては支障になるため撤去した。③タイル張りのステージを擬木板張りにし、円形のモニュメントを撤去して横長のパーゴラを設置した。④ステージ裏の高木は、そのまま生かして周りを改修した。⑤観覧席は観覧席部のサクラやケヤキなどの高木は伐採することなく植物と共存できる改修工事とした。



▲ 野外ステージで、【練馬・森の音楽祭】を！

⑥観覧席を照姫まつりでも、多くの人が心地よく観覧できるように両脇と後方へ、全体的に広げ観覧席スペースを確保した。⑦現在までの石張り席から擬木板張りの席に換え、斜面地を擬木板張りにした。

⑧災害発生時に利用出来る「かまどベンチ」を6基設置した。

しかしながら、これだけの大型工事をしながら何の改修記念行事をしないとは宝の持ち腐れである。記念行事をして、もっと都民にPRし、有効活用すべきだと思う。

この【野外ステージ】は、春の【照姫祭り】と、秋の【こども祭り】位の数回で、あまり利用されていない。

野外ステージで練馬・森の音楽祭の開催を

石神井まちづくりの会は、その野外ステージの活用について提案の一つとして、現在【練馬・森の音楽祭】の開催を練馬区議会に陳情している。

自然の中でのびのびと音楽に親しむことは、区民の音楽文化と憩いや安らぎを享受することが出来るような音楽祭を要望している。

【練馬・森の音楽祭】は、こどもから大人まで楽しめる大きな音楽祭を中心とし、数々のイベントが考えられる。その具体的な音楽祭実行委員会の設置が強く望まれます。即ち、農の練馬を活かした食文化を兼ねた大掛かりの【森の音楽祭】として発展していくような仕掛けが是非とも欲しいのである。

単なる音楽祭だけでなく春の【照姫祭り】に匹敵する音楽祭としたい。(下河秀行)



石神井公園商店街の【新春餅つき大会】



◎と き 2025年1月13日(祝・成人の日)午前10時～お餅がなくなるまで

◎ところ 石神井公園商店街 銀座通り ふれあい広場周辺

◎内 容 お餅・豚汁・甘酒・お汁粉の販売、お囃子

今年も石神井公園商店街へ是非お出かけ下さい。

主 催 石神井公園商店街振興組合



【知られざる練馬の歴史シリーズ(19)】 練馬区が漫画の「聖地」になるまで

練馬区は昔から漫画家が多いことで知られており、現在もプロ作家の約4割が居住しているともいわれている。主なところでは、手塚治虫・ちばてつや・松本零士・石ノ森章太郎・高橋留美子・白土三平・馬場のぼる・吉沢やすみ・貝塚ひろし・三田紀房・モンキーパンチ・山上たつひこ・いがらしゆみこ・竹宮恵子・萩尾望都（順不同：一時居住者、故人含む）・梶原一騎（原作者）などがおり、村上もとかは現在「石神井公園ふるさと文化館」の館長を務めている。

漫画家が増えた理由は複数あって、①「漫画の神様、手塚治虫に憧れて周辺に住む作家が増えた②大泉に「東映アニメーション」があり、アニメーター兼漫画家が付近に住むようになった③椎名町にあった「漫画家の梁山泊、「トキワ荘」の出身者が、そのまま沿線に流れるケースがあった（石ノ森章太郎・森安なおや・永田竹丸）、④かつて「大泉サロン」という女流漫画家版「トキワ荘」が存在した⑤大手出版社に近い割には家賃が安く、遊び場もなくて創作に適した環境だった、等々が挙げられるが、最大の理由は講談社を初めとする各大手出版社が、計画的に西武池袋沿線に漫画家を住まわせたことにあった。現在はバイク便等もあり、またパソコンを使って描いた作品をそのまま送信するケースも増えているが、かつて原稿はすべて編集者が直接取りに行っていたため、彼らが都内各所にばらけて居住されると非常に困ったのである。そこで、地方



▲石神井公園駅前のアニメサインボード（『ド根性ガエル』）

から有力な新人が出てきた際なども、編集者は練馬区内に住ませ、西武池袋線1本で大半の原稿の回収が可能となるように仕向けたのだった。例を挙げれば、墨田区に居住していたちばてつやも、転居を考え出した際、大泉学園に住む編集者が富士見台で家を見つけ、そこに住むよう勧めたりもしているのである。

なお、漫画を描く仕事は夜間にもなりがちで、そのためアシスタントたちも通いやすいよう、周辺に住むことが多かった。その中からまたプロの漫画家が現れ、またそのアシスタントの中からプロの漫画家が現れ…ということで漫画家はその後もどんどん増殖していくことになった。

かつての巨匠たちの多くもすでに亡くなっているが、その痕跡は今も区内各所に残されている。故・石ノ森章太郎宅の玄関には「ロボコン」と「仮面ライダー」像が置かれており、故・手塚治虫がかつて2階を仕事場に使っていた「ミートショップ エチゴヤ」のシャッターには手塚が店に残したキャラクターの絵が描かれている。



▲精肉店シャッターに描かれた手塚漫画キャラクター

また、区内鉄道各駅には、付近に住む漫画家などちなんだアニメのサインボードが設けられており、これも近年では多くの人々に知られるようになった。漫画関連のイベントもしばしば開催されており、昨年9月14日～11月4日には「石神井公園ふるさと文化館」で特別展「大漫会の漫画家たちー石神井公園の桜の木の下でー」も行われている。居住する漫画家の数は、23区内で今なお不動の1位である。

文/写真・葛城明彦（郷土史家）

安心・安全をサービスにおもてなし

石神井公園

旧西友通り

また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

全26基、LED街路灯に建て替え更に街が明るくなりました。



いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ みんな なかまよ

2024年10月12日(土)～2025年1月31日(金)
ちひろ美術館・東京

みんなでかんがえる
みんなの へいわー

「みんな仲間よ」私は自分の心にいいかせて、なつかしい、やさしい、人の心のふる里をさがします。絵本の中にそれが ちゃんとしまっているのです。

いわさきちひろ 1972年

このことばは、いわさきちひろが、自身の絵本に寄せてつづったものです。改めてちひろが絵本を通してわたしたちに伝えたかったことを見つめ直し、ちひろのことばから「みんな なかまよ」を展覧会のタイトルにしました。「へいわ」をテーマにした本展では、さまざまな「問い」をデザインしてきた塩瀬隆之氏の協力を得て、ちひろの絵を起点として、子どもから大人まであらゆる人が、ひとりひとりの個性を大切に、ともに「へいわ」をつくるための手がかりを探します。「問い」は、多様な人々を深い学びへと誘います。いっしょに考えて「へいわ」ピースのかけらを集めていきましょう。



いわさきちひろ そっぽを向く少年
『となりにきたこ』(至光社)より 1970年



いわさきちひろ そっぽを向く少女
『となりにきたこ』(至光社)より 1970年



いわさきちひろ
シクラメンの花のなかの
子どもたち
『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)より
1973年



いわさきちひろ
チューリップのなかの
あかちゃん 1971年



いわさきちひろ 木の葉のなかの少女
1966年



plaplaX スー ぽん タン シー 2024年



plaplaX ふたりのベンチ 2024年



plaplaX だあ・いー・あ！ローグ 2024年



いわさきちひろ ロンドン橋がおちる 1966年

お問合

TEL03-3995-0612
練馬区下石神井
4-7-2

○会 期=2024年10月12日(土)～2025年1月31日(金)
○開館時間=10:00～17:00 (最終入館は16:30まで)
○休 館 日=月曜日(祝休日の場合は開館、翌平日休館)
年末年始(12月28日～1月1日)

◆主催:ちひろ美術館 ◆展覧会ディレクター:近森基十小原藍(plaplaX)
◆企画協力:塩瀬隆之 ◆協力:谷川俊太郎・講談社
◆後援:絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、杉並区教育委員会、西東京市教育委員会、練馬区

料金 大人1200円/18歳以下・高校生以下は無料
団体(有料入館者10名以上)、65歳以上、学生の方・保護者
割引は900円/障害者手帳ご提示の方とその介添えの方
(1名)は無料/年間パスポート3000円



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

※上記のイベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。
最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お電話でお問い合わせください。

診療科目

- 内 科
- 糖 尿 病 内 科
- リ ウ マ チ 科
- 胃 腸 内 科
- 循 環 器 内 科

菅原 医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

診療時間

● 平 日 午前9:00～12:30 午後3:30～7:00
● 土 曜 午前9:00～12:00
休診日:水曜/日曜/祝日



練馬区石神井町3-9-16

冬のみどころ

石神井公園野鳥と自然の会の提供【石神井公園 NOW】

寒い季節にも、北の国から飛来する水鳥、真冬に出るフユシャク蛾、早咲きの桜や草花等に出会えるでしょう。猛暑を経験した生き物には、どんな変化が見られるでしょうか？

○野鳥

寒さが一段と厳しさを増すこの頃、木々の葉は落ち、草は枯れ、虫たちも姿を消した石神井公園に、数少ない餌を求めてコガモ、キンクロハジロ、ハシビロガモ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ等のカモ類や、モズ、ルリビタキ、ウグイス、アオジ、ツグミ、ジョウビタキ、シロハラ、シメ、アトリといった冬鳥達が少しずつやってきます。さらにそれを追って現れるオオタカ等の猛きん類・・・寒さや飢えをしのぎつつ、食うか食われるかの生存競争を生き抜こうとする野鳥達の懸命な姿をじっくり観察してみてください。



モズ



ルリビタキ



ヨシガモ



ヒドリガモ

一方で野鳥達にとって冬は恋の季節。派手な色彩に抜け替わったカモの雄たちが懸命に繰り広げる求愛行動にも注目してみましょう。1年のうちで最も野鳥観察を楽しむことができるベストシーズン、防寒対策をしっかり行った上で出かけください。

○植 物

イロハモミジ、トウカエデ、メタセコイア、ラクウショウなどの紅葉(黄葉)が青い空を背景に、池の初冬の彩りを映し出します。

サザンカ、ヤブツバキ、ビワ、ヤツデなどの花が咲き、年が明けると紅梅、白梅、花桃、B 地区野球場ではカンザクラ、2 月にはオオカンザクラが咲き、ハンノキは花穂の隙間にある種子を野鳥が食べる一方、暗赤色に垂れた雄穂から花粉を撒き散らします。寒さが厳しくなると日本固有種のシモバシラの氷柱が見られるでしょう。

冬芽の姿も多様です。コブシは銀色の毛に覆われ、ト

チノキは樹脂でべたつき、センダンにはビロードのような毛に覆われ、その周りを葉痕がぐるりと V 字型に囲みそれぞれのやり方で寒い冬を乗り越えます。

地面ではタンポポ、ノゲシ、ハルジオン、キュウリグサなどが地表に葉を広げ(ロゼット)寒さを避け太陽光を吸収し春を待ちます。2月にはヒメウス、

セントウソウ、ヤマネコノメソウなど早春の花が咲き出します。



ヤツデの花



センダンの葉痕 コブシの冬芽



トチノキの冬芽



ムラサキシジミ

○昆 虫

寒くなり、虫を探索するのが難しくなります。葉裏、樹皮下等を探しましょう。

真冬でもみられるのが、フユシャク蛾。翅のないメスが桜広場周辺の柵あたりでじっとしています。小さくてみつけるのが大変です。オスは、メスを探して飛び回っています。

成虫で越冬している、ムラサキシジミ、ウラギンシジミ、キタテハ、ルリタテハなどの蝶はシラカシなどの葉の上で日向ボッコしています。ホソミオツネントンボやホソミイトンボはササ藪、クビキリギスは枯れ草、日当たりのよい場所でみかけます。

毎月第4日曜日 9 時～11 時に定例自然観察会を行います(定例観察会は当面会員だけで行いますが、お試し参加歓迎です)

問い合わせ先：石神井公園野鳥と自然の会
練馬区東大泉 6-49-11
青木 方 Tel:090-2447-7860



K's TRUST

石神井公園駅そばにある創業 54 年、総合保険代理店です。皆様が安心して生活できるよう保険でサポートいたします。

株式会社 K's トラスト

〒177-0041 練馬区石神井町 3-25-8

橋本ビル 2 階

☎ 03-5923-7775

FAX 03-5923-7776

e-mail info@ks-trust.net

《取扱保険会社》

三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上あいおい生命保険株式会社・東京海上日動あんしん生命保険株式会社・ジブラルタ生命保険株式会社





2015年国連採択されたSDGsとは何を目指すのか?を考えてみることにした。目標は、大きく分けて17項目に分かれている。

石神井地域で取り組む【SDGsシリーズ】④について考えてみることにした。

【SDGs】④は、質の高い教育をみんなに…すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。今回は、都立大泉高校附属中学校を訪問し、校長 俵田浩一氏にインタビューした。

【目標は、大きく分けて 17 項目に分かれている】

Q.都立大泉高校附属中学校の特徴は？

A. 本校は、平成22年に東京都立大泉高等学校を母体校とする都立の併設型中高一貫教育校として開校し、「探究の大泉」のスローガンのもと開校15年目を迎えました。適性検査に合格した生徒が入学し、中学校卒業後は原則全員が都立大泉高等学校に進学する6年間の中高一貫教育校です。

本校の大きな特徴は、恵まれた教育環境と探究活動と国際理解教育を柱にした6年間の教育内容です。4万㎡の広い敷地と新築の校舎(平成24年竣工)の中には、本校のシンボルとなっている正門から約130メートル続く桜並木があります。桜並木は、毎年春の桜のシーズンに一般公開、夏は地域町内会の早朝ラジオ体操の会場、秋には地域の祭りのお神輿の通り道になっています。また、本校は災害発生時には練馬区の一時的滞在施設となるなど、地域と密着した学校です。

部活動も非常に盛んです。陸上部は2年連続して全国大会に出場しました。都大会には、サッカー部がベスト4(三位決定戦で勝利し、東京都第3位)、ソフトテニス部がベスト8、硬式テニス部、卓球部が都大会に出場しています。さらに学習面でも数多く表彰されており、国際ユース作文コンテスト3名入賞・学校特別賞、中学生の主張東京都大会4名入賞、東京都中学生科学コンテスト優秀賞、全日本学生・ジュニア短歌大賞2名入選など、生徒たちは様々な分野で文武両道の活躍をしています。

Q.都立大泉高附属中学校の教育理念は？

A. 【都立大泉高等学校附属中学校の教育理念】

本校は、「自主・自律・創造」を教育目標に、6年間の

系統性とゆとりある中高一貫教育の中で、物事の真理を深く考え、筋道を立てて明らかにする探究活動等を通して、夢の発見と実現に向けたきめ細かな教育の実践により、国際社会で活躍する多様な人間力を育成することをスクールポリシーに掲げています。

また、今年度は東京都教育委員会より「Global Education Network 20(学問・探究グループ)」「海外学校間交流推進校」「理数研究校」「生成AI研究校」の4つの指定を受けており、生徒の力を存分に発揮できる教育環境が整っています。

Q. 大泉高校附属中学校 SDGs の取り組みは？

A. 本校では、教育活動の柱の一つである『探究』の活動においてSDGsに対して積極的に取り組んでいます。例えば「フードロスに関する子どもの意識変化」についての探究をしている生徒が、幼稚園を訪問し、フードロス問題を題材にした紙芝居の読み聞かせを行ったり、また、規格外野菜(品質は規格品と同じでも、大きさなどが市場流通の規格(サイズ・重量・色など)に適合しない野菜のこと)を学校給食で食べることができるように、学校と練馬区の農家を結び付ける探究活動を行ったりした生徒もいました。

他にもSDGs⑤「ジェンダー平等」を目指した探究や、SDGs⑭「海の豊かさを守る」ことを目指した探究活動も行っており、生徒一人一人がSDGsの取り組みを念頭に入れた探究活動を主体的に行っています。



感謝のセレモニー マキノ祭典

ご葬儀に関する事なら何でもご相談ください

24時間
安心ダイヤル

フリーダイヤル



ヨイ セレ モ ニー
0120-41-7062

■ 本 社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040

マキノ祭典

検索

■ サロン：東大泉店・大泉学園町店・石神井公園駅前店・大泉学園駅前店・中野駅前店

～練馬区 縁(ゆかい)のある漫画家たち～ 紹介シリーズ③

練馬区立石神井公園ふるさと文化館では、令和6（2024）年1月から分室にて練馬区ゆかりの漫画家の紹介をしています。漫画「JIN」の作者である村上もとか館長をはじめ、練馬区内にはたくさんの漫画家が住んでいらっしゃいます。3ヶ月ごとに2人の漫画家を紹介し、原画や漫画本などを展示しています。本誌では、ふるさと文化館分室で作品展示を行った漫画家を紹介しています。

高宮 ニカ

平成 21（2009）年、双葉社少女漫画誌にて『純情センチメートル』でデビュー。女性漫画ジャンルに移行してからは主にコミカライズを担当。『失恋未遂』（双葉社/原作イアム）、『ゲイと思っていたオネエがバイで、気づけばメロメロにされてました』（ネオアルド/原作めろめろす）など、シリアスからコメディまで幅広く手掛ける。令和 5（2023）年から連載が始まった『帝都の使用人は恋染むる』（双葉社/原作川上桃園）では初めて時代物に挑戦した。



原画「帝都の使用人は恋染むる」令和 4（2022）年

武村 勇治

平成 6（1994）年『サンデー超』（小学館）にてまんがカレッジ入選作「ガキ」でデビュー。デビュー時から練馬に在住し、「あらかると」「マーベラス」「売ったれ！ダイキチ」「風娘」「我が名は海師」「風の棋士ショウ」「義風堂々!!」「天威無法」「トリガー」「蟻地獄」「仕掛人 藤枝梅安」「弁護士・亜蘭陸法は漫画家になりたい」を連載。現在、新連載作品を鋭意制作中。



左：原画「トリガー」平成 23（2011）年
右：原画「蟻地獄」平成 27（2015）年

1月～3月は、下條よしあき先生と、たかぎ七彦先生の作品を展示する予定です。
石神井公園ふるさと文化館 練馬区石神井町 5-12-16 TEL03-3996-4060



～地域文化の交流点～ 観蔵院曼荼羅美術館

開館時間/土・日曜日 10:00～16:00
東京都練馬区南田中4-15-24
TEL3996-6858 FAX3996-6878
<https://kanzouin.wixsite.com/mandala>



～練馬区の活動団体紹介～ その⑥ **NPO法人【むすび】**

NPO法人【むすび】は、1999年「誰もが安心して産み育てられ、住み続けることができる社会、共に立ち、共に育つ地域を目指す」を理念に掲げて立ち上げました。

●主な活動内容

困りごとのお手伝いをするサービス「自立援助サービス」を中心に13人からスタートしました。

その後、介護保険サービス、障がい福祉サービス、練馬区委託事業などを行うようになりました。



▲毎週金曜日の午後に開かれる「パソコン相談室」

2011年現在の光が丘の場所に移転をしてきてから、今まで中々出来なかった居場所事業を始めました。

今では、「脳活マージャン学校」、「パソコン相談室」、「オレンジカフェアリス」、「歌声喫茶パンパン」、「むすびシヌマdeシネマ」、「ロコモおたすけ体操」などを主催しており、多くの方が来てくれています。



▲むすび展と同時開催のフリーマーケットの様子

光が丘団地という近隣との関係性が薄くなりがちな地域では、特に大切なことかもしれません。

HPに詳細がありますので是非ご覧頂き、足をお運び下さい。

このように、NPOむすびの活動は、設立以来25年になるが、他に類をみない活動が活発に行われている。

特定非営利活動法人 むすび

東京都練馬区光が丘3-9-3-206

理事長 齋藤 真美

HP <http://musubi-tasukeaijimdown.com/>

E-mail musubiclub@yahoo.co.jp

電話 03-6904-3275

～【練馬ジャズ教室発表会】 盛大に行われる～

去る10月8日(金)【練馬ジャズ教室発表会】が中野区野方『WIZホール』で29名の会員が参加して盛大に行われました。【練馬ジャズ教室】は平成27年(2015)4月に設立されて既に9年になり、会員も毎年増え、月に2回のグループレッスンを続けています。発表会は、毎年杉並区のライブハウス「スタジオK」で行っていましたが、今年は発表者も

29名と多くなり、音響と広い会場の中野区野方『WIZホール』で行われた。

会員の皆さんはジャズを生き生きと歌っておられ非常に楽しい【練馬ジャズ教室発表会】となった。

尚、令和7年度の【練馬ジャズ教室発表会】は11月7日(金)大泉学園駅北口【ゆめりあホール】で開催されることが決定しています。



▲バンドをバックに歌う【ジャズ教室発表会】の模様



▲賑やかで楽しく歌った【練馬ジャズ教室発表会】

地元を知るエッセー

練馬区の77年の歴史シリーズ その②

戦後練馬区民の生活は非常に疲弊していた

東京都は、1945年4月の大空襲で10万人の死者を出しており、日本全体の経済も国民生活も物不足で、非常に貧しい生活が続いていた。

この年、旧西武鉄道と武蔵野鉄道が合併し、西武農業鉄道となり、翌年に西武鉄道と改称している。

このシリーズで、今回は練馬区が1947年(昭和22年)8月板橋区から独立して東京都内で23番目の区として独立したことを書いたが、1947年9月第一回練馬区長・区議会選挙があり、初代区長には白井五十三氏就任し、36名の区会議員が選出されている。

48年にはグランドハイツ(米軍家族宿舎)が完成して、GIがあちこちで見られるようになった。敷地面積約



▲米軍グランドハイツの案内板

1.81 km²、建物数約730、入居家族世帯は1,284で、各種施設があり、多くの日本人も、メイド、ボーイ、運転手として働いた。

家族世帯は1,284で、各種施設があり、多くの日本人も、メイド、ボーイ、運転手として働いた。

1950年には、第7回国勢調査が行われて、練馬区の人口は12万5197人となった。1951年には、第二代目区長として須田 操氏が就任。1952年千川上水を暗渠化工事が始まる。

1953年には「練馬区報」が創刊されている。

今広く区民に愛読されている「練馬区報」が1953年に創刊されている。

9月には、都内初の区営分譲住宅が春日町に10戸建設されている。10月には、牧野富三郎博士が第一回名誉都民となる。また練馬公民館が開館し、練馬区紋章が制定された。1955年には第8回国勢調査が行われて、練馬区の人口は18万5814人となる。同年第3代区長に町須田操氏が就任する。

1958年12月大泉学園に「牧野記念庭園」が開園する。1959年には、今でも有名な谷原町に球形ガスタンクが建設された。1960(昭和35年)10月第10回国勢調査で、練馬区の人口は30万5628人となる。

1961年4月練馬区内在住の紙塑人形の鹿児島県蔵さんが人間国宝に認定された。(下河秀行)

～【かるがも便り】は、インターネットでも閲覧可能です～



今号の記事内容
1. 暮らし続けたいみどりあふれる快適な住居都市を目指して～マスタープラン
2. 石神井区民の暮らしと文化を伝える～「石神井区民の暮らしと文化」について。
3. 石神井区民の暮らしと文化を伝える～「石神井区民の暮らしと文化」について。
4. 石神井区民の暮らしと文化を伝える～「石神井区民の暮らしと文化」について。

新しい未来像(ビジョン)に基づいて、練馬区の都市マスタープラン～新しい成熟都市・練馬を目指して～

住みよいまちづくりを目指して活動している「石神井まちづくりの会」が発行している地域情報紙【かるがも便り】は、来年夏季号で創刊25周年・第100号を迎えます。この情報紙は、練馬区内の12の図書館と30の公共施設に設置されています。

紙面で閲覧し難い方はインターネットで簡単に見ることが出来ますので、お試しください。

<https://s48921h.wixsite.com/nerima>

Shimizu Dental Clinic
シミズ デンタル クリニック
歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科
練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階
石神井パークロード商店街 銀座通り
診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜
お昼休み 13:00～14:00
日曜 祝祭日 年末年始 休診
03-6913-3517
<https://firstmolar.jp/>

～お知らせ～
当院では、**歯科訪問診療**を行っています
クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで
ご家庭や施設など限られた環境でも
経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応
みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします
どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください

院長 清水 雄一郎

石 神 井
まちづくりの会

ご意見等は、☎&FAX、又は左下のe-mailへ送信してください。

TEL&FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え～る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にあります。